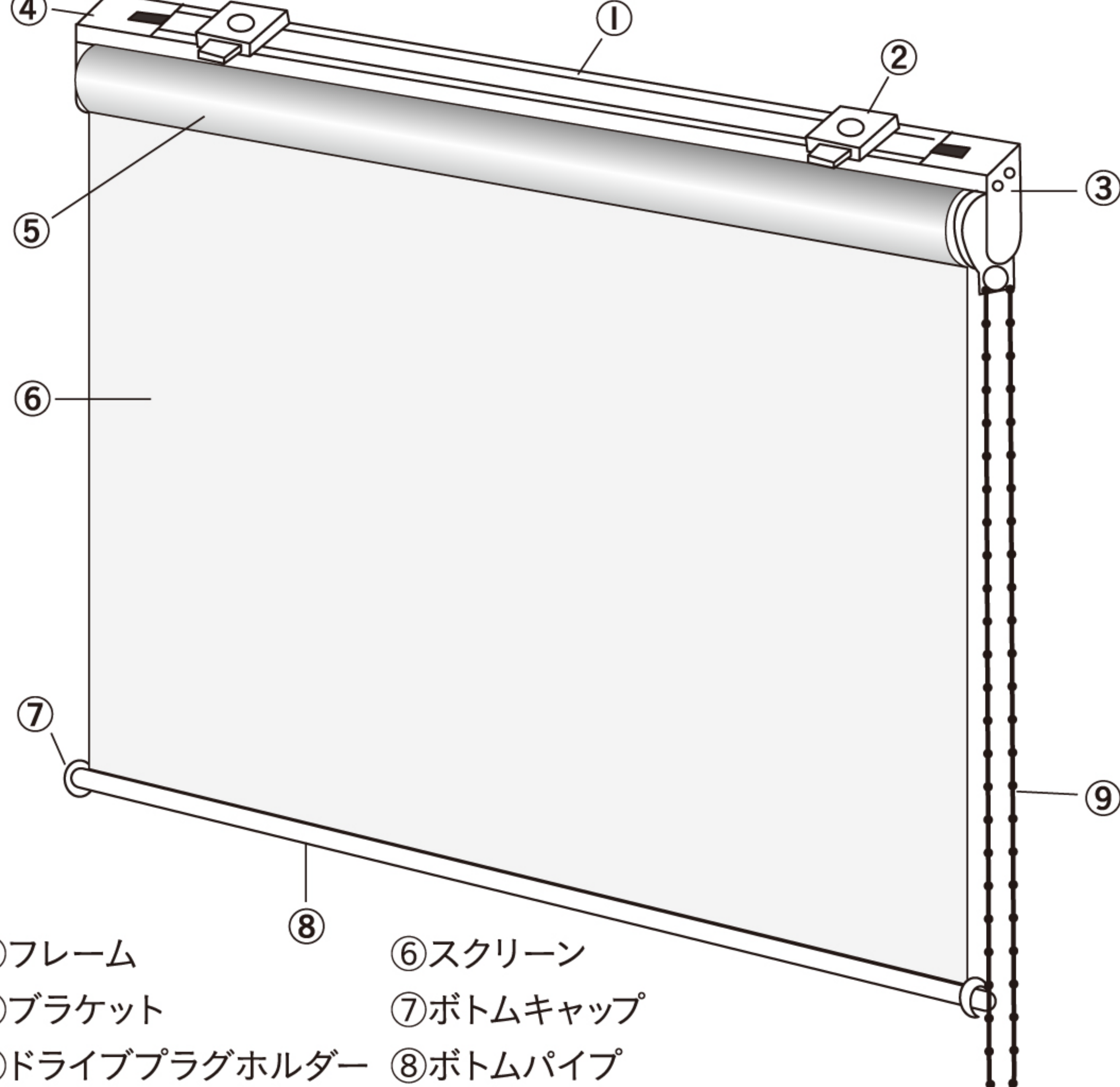


取扱説明書

各部の名称



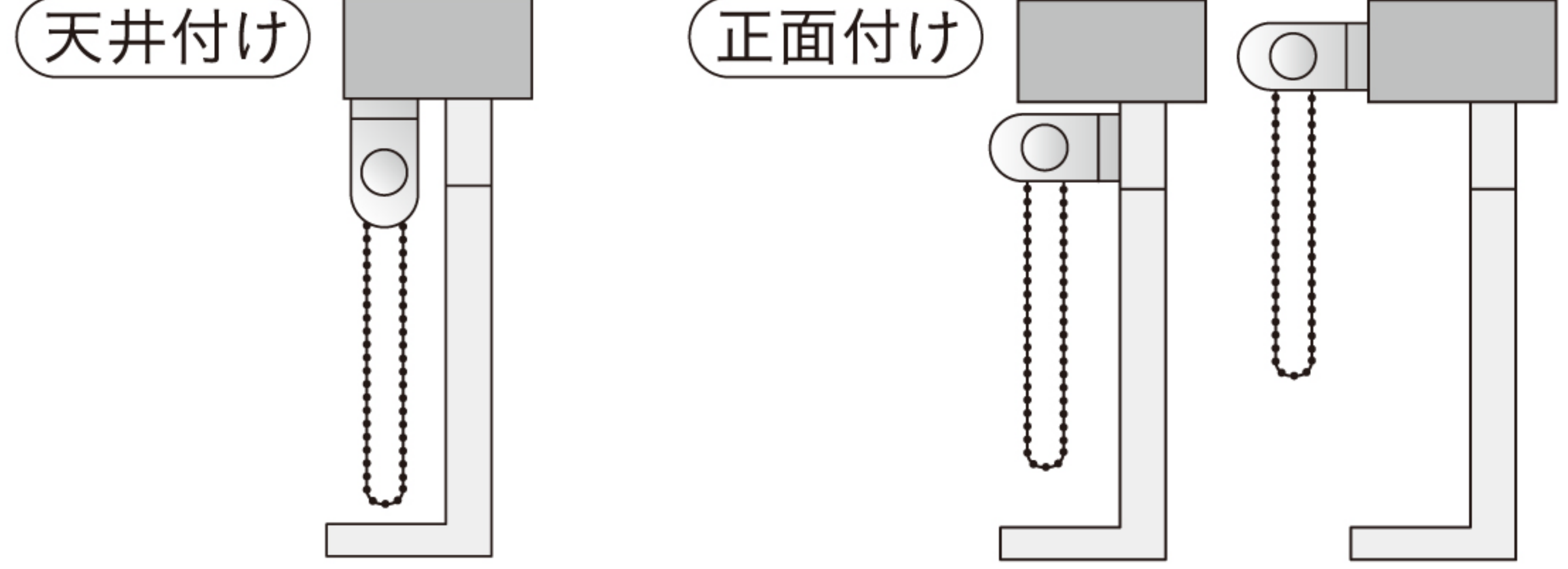
- ① フレーム
- ② ブラケット
- ③ ドライブプラグホルダー
- ④ ピンプラグホルダー
- ⑤ 巻き取りパイプ
- ⑥ スクリーン
- ⑦ ボトムキャップ
- ⑧ ボトムパイプ
- ⑨ 昇降チェーン

※フレームについている透明のプラスチック部品は輸送時に本製品を固定するためのものです。取り付けには必要ありませんので処分してください。

部品詳細

図	部品名	幅		
		60cm	90cm	180cm
	ブラケット	2	2	3
	カーテンレール 取り付けプレートセット	2	2	3
	木ネジ ※予備1	3	3	4
	安全クリップ	1	1	1

取付方法



本製品の取り付けは、下向きに取り付ける場合(天井付け)と、本体を正面に取り付ける場合(正面付け)の2通りのパターンがあります。

天井付けの場合

天井面
壁・窓面
2~2.5cm
プラスチックの突起部分が手前になるように取り付ける。

天井面
壁・窓面
パチンと音がするまで押し付ける。
ロールスクリーン本体
ブラケットの金属のツメ部分を先に入れる。

- ① 壁・窓面から2~2.5cmのスペースを確認して、取り付け位置に、ブラケットを付属の木ネジで固定してください。
- ② ブラケットにロールスクリーン本体を取り付けます。
※ご使用前にブラケットと本体がしっかり固定されているか、再度ご確認ください。

正面付けの場合

天井面
壁・窓面
2~2.5cm
プラスチックの突起部分が下になるように取り付ける。

天井面
壁・窓面
ブラケットの金属のツメ部分を先に入れる。
ロールスクリーン本体
パチンと音がするまで押し付ける。

- ① 天井面から2~2.5cmのスペースを確認して、取り付け位置に、ブラケットを付属の木ネジで固定してください。
- ② ブラケットにロールスクリーン本体を取り付けます。
※ご使用前にブラケットと本体がしっかり固定されているか、再度ご確認ください。

取り付けの際は、必ず窓枠に対して水平に取り付けてください。

カーテンレールに取り付ける場合

取り付け前にカーテンレールの水平と強度を必ず、確認してください。
※カーテンレールの強度によっては、取り付けできない場合があります。

- ① カーテンレールのキャップを外し、ランナーを抜き取ってください。
- ② 付属のカーテンレール取り付けプレートをネジでブラケットにセットした後、カーテンレールに送り込んで取り付け位置まで移動させ、固定してください。(天井付けの場合①参照)

カーテンレール取り付けプレート
ブラケット
カーテンレール
取り付け位置まで移動する。
側面図
部屋側
ブラケット
プラスチックの突起部分が手前になるように取り付ける。
ブラケットの向きと位置を確認し、固定する。
- ③ ロールスクリーン本体をブラケットにセットしてください。

側面図
部屋側
ブラケットの金属のツメ部分を先に入れる。
パチンと音がするまで押し付ける。
ロールスクリーン本体

※ご使用前にブラケットと本体がしっかり固定されているか、再度ご確認ください。

操作方法

昇降チェーンを上下させて、スクリーンを昇降させてください。

▲取り付け時の注意

- 付属の取り付けネジは木部専用です。(木部以外では、使用しないでください。)
- 壁や天井に取り付ける場合、必ず事前にネジの下穴を開けてください。木ネジが折れたり、取り付け面にひび割れが起きることがあります。
- ネジの溝の大きさに合ったドライバーをご使用ください。(サイズの合わないドライバーをご使用になりますと、ネジの頭がつぶれる場合があります。)
- 取り付けの際は、必ず窓枠に対して水平に取り付けてください。

▲使用上の注意

- 本来の用途以外には使用しないでください。
- お子様が本製品に乗ったり、遊ばないように注意してください。ケガや破損の恐れがあります。
- 付属の取り付けネジは木部専用です。木部以外では、使用しないでください。
- ロールスクリーンにはぶら下がらないでください。
- 表示されている、決められた製品高さの範囲内でご使用ください。範囲外でのご使用は落下、破損の原因になります。
- 火のそばや高温になる場所に置かないでください。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。

▲警告

お子様がコードやチェーンを巻きついたり、引っかけて遊ばないように注意してください。お子様の首に絡まり、窒息する恐れがあります。



巻ズレについて

出荷時は、均等に巻き上がるように調整していますが、取り付け方によって、生地が片方によってしまうことがあります。その場合は、スクリーンを一度巻き取り、パイプ部が出る位最後まで引き下げ、よってしまう側と反対側のパイプの端にセロテープを重ねて貼ると、巻きズレの調整ができます。(例:右による場合はパイプの左端に貼る。)